

地域おこし活動を充実させる 考え方・活動のポイントとは？

こんな方におススメ！

- 活動の成果が思うように出ない
- 地域との関わり方に悩んでいる
- 行政職員との関わり方に悩んでいる
- モチベーションが上がらない
- 活動をもっと充実させたい

前回の参加者の感想

- ・自分の課題や強みを認識できた
- ・アウトプットすることで、自分の考え方が分かった
- ・自分の活動が客観的にみてどのような状況か確認できた
- ・活動に必要な考え方、思考の組み立て方を学べた
- ・ぼんやりしていた部分を言語化、整理できた

南陽会場

日時：12月11日(木)13時～16時
会場：シェルターなんようホール
展示ギャラリー

新庄会場

日時：12月12日(金)13時～16時
会場：わくわく新庄 研修室

対象者

県内で活動中の地域おこし協力隊員

-プログラム-

◆ 各自の協力隊活動に合わせたマインドセットのつくりかた

・活動が充実している隊員の共通点とは？ ・行政や地域との関係づくりについて 等々…

【講師】FURUSATOの未来 伊藤 一之 氏 (中山町地域おこし協力隊OB)



昭和63年 山形市生まれ【現在37歳】

高校卒業後、東京の日本料理店に就職し、その後営業職を経る。仕事の傍ら、趣味で地域振興に携わり、所属していたチームが2019年に「栃木県知事賞」を受賞する。

受賞をきっかけに本業として地域振興を志し、地域おこし協力隊に応募することを決意、2020年2月に中山町地域おこし協力隊に着任する。

2023年2月任期満了に伴い、協力隊を退任した後、FURUSATOの未来という地域振興会社を設立し、複数の地域で「地域商品開発・販売事業」、「インターネットラジオ事業」、「中間支援事業」、「地域おこし協力隊サポート事業」などを手掛ける。その他、中山町観光協会芋煮会振興部会長、紅花推進協議会副会長としても活動している。

同時開催！

市町村担当職員情報交換会

全国からの地域おこし協力隊に関する相談対応や業務サポートを行っている、総務省地域おこし協力隊アドバイザー・サポートデスク専門相談員をファシリテーターに、市町村職員間の情報交換会を行います。サポートデスクによく寄せられるお悩みやその対応もご紹介いただきます。

【ファシリテーター】

(南陽会場)長谷川 祥子 氏

福島県会津美里町地域おこし協力隊として移住推進業務等に携わりながら、2020年に一般社団法人TORCHを設立。移住定住支援や空き家バンクの運営業務、協力隊受入における伴走支援、隊員や担当職員のサポート・研修業務を行う。

2022年から地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員。

福島県地域おこし協力隊サポーターズクラブの運営にも携わっている。

(新庄会場)野口 拓郎 氏

2011年に広島県三次市地域おこし協力隊として地域運営組織の活性化業務等に従事。2016年から地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員。弘前大学教員として協力隊に関する研究・執筆や、東北・北海道・関東を中心とした協力隊担当者への伴走支援・研修運営に従事。特にトラブル予防に重点を置いている。青森県過疎地域等政策支援員として青森県内の協力隊制度運用のサポートも担っている。

申込方法

11月14日(金) まで、出席報告書を市町村を通して送付(下記担当あて)

主催：山形県

担当：移住定住・地域活力拡大課 尾関 023-630-2371 MAIL : ozeki@pref.yamagata.jp